

医薬品のうち安全上特に問題がないものの選定に関する検討会の
検討結果について

平成15年12月16日
(社) 日本薬剤師会

本日、医薬品のうち安全上特に問題がないものの選定に関する検討会が開催され、ワーキンググループにおける選定作業結果の報告及び一般小売店における販売についての今後の方針が了解された。

日本薬剤師会としては、短期間に集中的に選定作業に携われた専門家の方々のご苦勞に対して敬意を表したい。

本会としては、平成11年において医薬部外品に移行できるものはすべて移行されたものと考えており、今回の報告内容については賛成できるものではない。特に、専門家による検討であれば「特に安全上問題のない医薬品」はほとんどないものと考えていたところ、大変残念な結果と考えている。また、医薬品の配合成分を変更せずに医薬部外品にするという取り扱いについては問題があるといわざるを得ない。

国は、安全確保のため、選定結果について検証し、必要に応じて選定結果を見直すとしていることから、是非そのようなフォローアップを積極的に行ってほしい。これらの品目については、消費者に分かりやすい表示などを徹底し、安全使用を確保していただきたい。

医薬品の一般小売店での販売については、引き続き規制緩和が求められることが予想されるが、日本薬剤師会としては、夜間対応、適切な服薬指導、名札の着用という3つの約束事項を徹底するとともに、医薬品販売規制の緩和要求に対しては、これまで以上の反対行動を継続していく考えである。